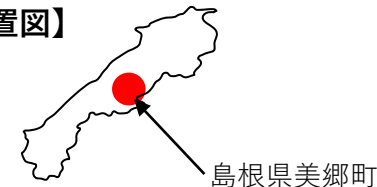


「魅力ある農業」の確立と就農研修施設の整備による担い手育成

- 町内農業における課題に対し、町の強みを活かした「**魅力ある農業※**」の確立を目指す。
※”脱炭素”を取り入れることで高い収益性を可能とする施設園芸モデル
- 町営リースハウスでのミニトマト就農に向け、実践的な研修施設の整備と研修制度を創設。
- 上記取組に**共感する人材を町外から受入れ**。先進的な事例として官民が注目。

【位置図】



取組前

- 基幹的農業従事者数の長期減少傾向に歯止めがかからず、担い手減少と耕作放棄地増加が深刻化。
- 耕作放棄地の受け皿となっている集落営農組織の高齢化が進み、農地維持が困難になる懸念。
- 就農地としての魅力を高めるため、美郷町の強み（脱炭素による地域課題解決のエコシステム）を活かした「魅力ある農業」の確立が急務であった。

取組内容

- 農業研修施設の整備
研修用ハウス1棟(360㎡)増設。
- 就農研修制度の創設
研修2年目の二期作(春・秋)用ハウスを整備し、ミニトマト栽培の研修を実施。販路についての意識醸成を狙い市場見学など県外での研修を実施。



農業研修施設「みさと。トレーニングファーム」

取組後(成果)

- 令和7年4月に第1期農業研修生3名、令和8年4月に第2期農業研修生3名を受入。現在6名の受入を行っている。
- 研修生と研修生の家族を含め9名が美郷町へ移住。
- 行政機関や民間企業から48組 242人の視察受入を行った。(令和7年度末現在)

【誘致体制】



令和8年3月に産地化に向けた方向性を示す「産地ビジョン」を策定するとともに、「美郷町ミニトマト産地づくり協議会」を設立し、生産者の所得向上を目指す。

新規就農者や研修生の声

- 「就農時と同じ栽培方法や栽培設備のため、より実践的な感覚で研修を受けることができ、大変満足している。」
- 「施設内での充実した研修に加え、先輩農家での研修や農林大学校での座学があり、いろいろな方々の知識や技術を知ることができる。」

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】 美郷町産業振興課 アグリ事業開発室
TEL:0855-75-1214
E-mail:zerocarbon@town.misato.shimane.jp
HP:<https://www.shimanemisato.com/zerocarbonagri>